

# 社民党 県連合ニュース

社会民主党福島県連合  
郡山市桑野2丁目25-16  
024-922-8990

## 福島市議会議員選挙

# 三浦ゆみこさん見事初当選!

＝この流れを会津若松市議選、郡山市議選につなげよう!＝

7月9日執行された福島市議会議員選挙で、社民党公認・三浦ゆみこさん（新）が1617票を獲得、見事初当選を戦い取りました。

定数35に対し46名が立候補、新人候補という厳しい状況のなか、一軒一軒チラシを配りながらの家庭訪問や告示後も、声が枯れてガラガラ声になっても「ガミ声で訴える」と辻ごとの街頭演説など、医療や福祉、子育てや住み良い暮らしを中心に、女性の立場から社民党の政策を精一杯訴え、当選を勝ち取ることができました。

国民生活を無視した防衛予算の大幅増や、放射能汚染水の海洋投棄など、岸田政権の暴走を止めるためにも、「くらしが一番・がんこに平和」の社民党の政策を大胆に訴え、文字通りの地べたからの選挙を戦い抜いていく以外にありません。

7月23日告示・7月30日投票 会津若松市議会選挙 譲矢 隆さん  
7月30日告示・8月6日投票 郡山市議会選挙 遠藤芳孝さん

さらに9月の石川・三春町議会選挙の必勝をめざし、全党員による支援・協力をお願いします。

全党員による

当該選挙区の知人友人、親戚などに対する電話や手紙などでの働きかけをお願いします。



＝戦争反対！自治体を平和と民主主義の砦に！＝

## いま、平和は問いかける

開成国際高校3年 平安名 秋さん

夏6月 溶けかけたアイスを手走り出す  
緑萌ゆるこの島の屋下がり  
礎（いしじ）に刻まれた「兄」に まるであの日のように  
そっと触れるおばあ涙は 陽炎が登る摩文仁の丘に ただ果てしなく広がっていく  
その涙は体を包み込み 私を「あの日」へといざなう

限りないこの空は 何を覚えているのだろう  
涙に満ちたおばあ瞳は 何を語りかけているのだろう  
78年前のあの日 あの時  
かけがえのない たったひとつの命が 憎しみと悲しみの中で散っていった  
名も無き赤子の ひそかなひそかな泣き声は  
震える母の手によって 冷たく光の無いガマの中で儚く消えていった

幾多もの砲弾が 紺碧の海を黒く染める鉄の嵐となって この島に降り注いだ  
戦争が起きる前 そこには日常があった  
私たちと同じように 原っぱを駆け回り 友達とおしゃべりする  
みんなで温かいご飯を食べ 時には泣き 時には笑い 時にはありがとうと伝える  
そんな今と変わらない日常が 平和がそこにはあった  
平和は不確かでもろく崩れやすい  
いつもすぐそばにあるのに いつの間にか消えていく

おばあ涙は  
摩文仁の丘に永遠に灯る平和の火は いま、私たちに問いかける  
平和とは何かを 私たちができることは何かを  
私は過去から学び そして未来へと語り継いでいきたい  
おばあ涙を 沖縄の想いを  
かけがえのない人達を 決して失いたくないから

今日も時は過ぎていく いつもと変わらずに  
先人たちが紡いできた平和を 次は私たちが紡いでいこう  
そして世界に届けていきたい  
平和を創り 守っていくこの沖縄の「チムグクル」（まごころ）を

- 沖縄戦78年・慰霊の日 2023年6月23日 -

平和は不確かでもろく崩れやすい。いつもすぐそばにあるのに、いつの間にか消えていく。犠牲者を悼む「慰霊の日」 沖縄の心を踏みにじり、軍備増強の戦争政策を暴走し続ける岸田自公政権に沖縄開成国際高平安名さんは問いかける…。